

横浜市青少年指導員
シンボルマーク

みなみ青指だより

南区青少年指導員協議会



南区・御殿場ふれあいキャンプ2022

7月16日(土)～7月17日(日)、国立中央青少年の家にてキャンプが行われました。今回はコロナ禍での実施ということで1泊2日の行程で行われ、宿泊もテントではなく宿泊棟を使用しての実施でした。参加者は子ども33人、青少年指導員26人、事務局2人、看護師1人、合計62人でした。

初日はあいにくの雨で屋外でのレクリエーション活動ができず、キャンプファイヤーも残念ながらできませんでしたので、室内でのキャンドルファイヤーに変更しました。歌にダンスに元気よく体を動かし、たくさんの思い出を作ることができました。

2日目は天気も回復して、水遊びに子どもたちもはしゃぎまわり、たくさんの笑顔がみられました。3連休にかかっていましたが、途中の道路も渋滞がなくスムーズな運営ができました。(加藤、青木)



■ AED研修会

3年ぶりに開催されるふれあいキャンプに先駆けて、令和4年6月30日に南消防署の隊員さんを講師にお迎えして山崎会長、並びに参加する青少年指導員で「胸骨圧迫とAEDの取り扱い研修」を行いました。3班ごとに応急処置の重要性を学び、AEDの使い方を実際に確認しました。(寄稿 太田東部 木村様)



キズナがふかまった キャンドルファイヤー

永田小学校4年 佐伯 美香

わたしは、キャンドルファイヤーが一番心にのこりました。室長のなつきさんが、木に火をつけたときに、木が明るくなり、一つ一つのキャンドルがわたしたちの様子を楽しげに見つめているようでした。その後、みんなでおどったり歌ったりしたので、体がつかれてきました。また、レクも楽しかったです。とくに、木とリスが一番楽しくて、いい運動にもなりました。さきほどまで、とくにかかわりのなかった子どもたちとも、なかよくなりました。みんなのキズナのふかまった楽しいキャンプでした。

充実した2日間

藤の木中学校1年 杉 佳歩

1日目は、キャンプファイヤーが中止になるほどの雨でした。それでも、他のブロックの子とも仲良くなれ、体を動かしたり、歌ったりして楽しかったです。

2日目は念願の晴れ。思いっきり川遊びを楽しめました。バスの中でもビンゴをして、区役所につくまで楽しめました。いい思い出となりました。

今回のキャンプで……

六つ川小学校6年 星野 晴天

今回のキャンプは天気恵まれなかったけどとても楽しめました。

チーム対抗のオセロ大会では、仲間との意志の疎通を感じ、全力で取り組みました。みんなで協力して作ったカレーはいつもよりはるかにおいしく感じ今でも忘れません。夜にみんなでやったレクが一番印象に残っています。

この2日間は僕にとって仲間とのつながりを感じた名前どおりの“ふれあいキャンプ”でした。もう1日あればもっと楽しかったと思います。

キャンプの 思い出

キャンプに参加した子どもたちから
感想を聞きました



キャンプで一番 楽しかったこと

六つ川小学校3年 谷口 奈緒

私がキャンプで一番楽しかったことは、キャンドルファイヤーです。雨だったので、キャンドルファイヤーをすることになりました。木のえだにろうそくをいっぱいつけて、歌ったり、おどったりして楽しみました。

「私は火のかみ様だー。」と、出て来た人や、ピエロにへんそうする人もいました。

キャンプ場に帰った時も、みんな、「キャンドルファイヤーが楽しかった。」と、言っていました。楽しかったので、来年も行こうと思います。

大切な思い出

永田台小学校5年 岩崎 陸欏

ふれあいキャンプで初めて会った友達と2日間過ごし、楽しい思い出を沢山作ることができました。キャンドルファイヤーでは、ゲームやダンスで盛り上がりました。川遊びでは、仲良くなった友達と川に落ちないように流木を渡ったことが楽しかったです。部屋では、みんなで気持ちよく生活できるよう、ふとんしきをがんばりました。鉄道好きの仲間や青指の方と、鉄道のことや将来の夢を語り合ったことも大切な思い出です。次も参加し、自分をもっともっと成長させたいです。

はじめての サマーキャンプ

永田小学校4年 林 琉希

ぼくがこのキャンプで心に残ったことは、みんなと一つしよに、カレーを作ったことです。

6年生のお兄さんに、火が消えないようにするには、「まきが黒くなったら、新しいまきを入れることと、灰が飛ばないように、うちわで左右にふりながら、下から上にあおぐといいよ」と、教わりました。その通りにやってみると、火が消えずに、「上手だね」と、ほめられてとてもうれしくなりました。

次回はこうはいに教えたいと思います。またさんかしたいです。

令和4年度(第42回)

ボイス・オブ・ユース 青少年の主張

令和4年12月4日(日)

2022年に入り新型コロナウイルス感染症は、3回目のワクチン接種が進み感染者も減少傾向に入り、徐々に日常生活に戻って旅行や各種イベント等が、再開されるようになってきました。

令和4年度のボイス・オブ・ユースは3年ぶりに通常に近い形での開催となり、全員選考会も行われ2年間行われなかったみなみん(南公会堂)での表彰式も、一般の方の観覧は見送られましたが、ご家族・関係者のみの前で子どもたちの表彰と作文の読み上げを行うこととなりました。また、今回は小・中学生のボランティアは見送り、青指の参加者も制限された中で会場の設置・案内、受付等、表彰式のリハーサルも行いました。

表彰式の規模も縮小となりアトラクションもない中で、全体的にコンパクトな感じになりましたが、あたたかい雰囲気の中でスムーズに進み、無事に終了しました。

コロナの感染者が徐々に増えている状況の中で表彰式を行うことができ本当に良かったです。そして来年は、通常通り一般の方も観覧できるようになって、入賞者のお祝いをしたいです。(平野、稲垣)

入選者 小学生の部



入選者 中学生の部



『ちょうせん』

六つ川台小学校3年 齋藤 琉成



ぼくは、ボイス・オブ・ユースの朗読の代表に選ばれて、ドキドキしましたが、たくさんの人に拍手をもらって、とてもうれしかったです。ちょうせんすると、自分に自しんがついて、こんなにいい気持ちになるんだと思いました。

『発表した時の気持ち』

六つ川台小学校6年 津田 雪乃



みなさんの前に立って、私は今までで1番緊張しました。でも、6年生で入選できたことがとても良い思い出になりました。中学生になっても自分の意見をしっかりと発表できるように、これから頑張ろうと思います。

『ヘッドネーションカットをして思ったこと』

南小学校6年 志賀 みのり



自分が選ばれたことにびっくりしましたが、朗読をすると聞いてさらにびっくりしました。毎日練習をしましたが、少しかんできました。良い経験ができて、良い思い出となりました。ありがとうございました。

当日朗読をした
子どもたちから
感想を聞きました

『将来の夢』

共進中学校2年 富永 杏樹



今回人生で初めて自分の作品が表彰されたので、とても嬉しかったです。朗読するのはとても緊張しましたが、自分の思いを沢山のの人に伝えることができたので良かったです。来年も作文が選ばれるように頑張ります。

『スマホの使いすぎ』

平楽中学校2年 トリスタン ウイルソン



当日は人が多くて緊張しましたが、事前に学校の先生と「ゆっくり」[抑揚をつける]を意識した成果もあって、よく読めたと思います。たくさん知らない人たちの前で発表するのは小学生以来だったのでとてもいい経験になりました。

『スマホと真剣に向きあう』

永田中学校3年 中畑 瑛斗



私は日頃からスマホを使いすぎることが多く、使い方について疑問に感じていました。今回の作文をきっかけにスマホとの向きあい方をもう一度考えることができました。同じように考える人が少しでも増えたらいいです。

『ボイス・オブ・ユース 表彰式に参加して』

蒔田中学校1年 田川 花海



あのように大勢の前で自分の作文を読むのは初めての経験で、とても緊張しました。貴重な経験を楽しむことができました。ありがとうございました。

スタッフの感想



●会長

作文朗読を何とか再開したいの思いから、3年ぶりの開催でした。来年は観客も増やせるといいなあ。(山崎会長)



●受付

実行委員会を一度も出席できずにぶっつけ本番で、何が何だかわからないうちに終わっていました。(青木さん)



●壇上案内

初めての壇上案内担当をさせていただきました。登壇待ちの子ども達の緊張が伝わり、応援したい気持ちで一杯になりました。(小澤さん)



●記録

立ったままの撮影は疲れましたが、受賞や発表の子どもたちの姿はとても魅力的で、疲れも吹っ飛びました。(黒住さん)



●司会

やっとできた表彰式、表彰朗読の皆さんの健闘を讃えることができ嬉しいです。(吉川副会長)



●会場案内

会場案内は、会場内と場外に分けて誘導しました。受賞者の案内誘導も確実に実施でき、時間も予定より早く終わりました。(日高さん)



●音響・照明

このような経験をさせていただきすごくうれしく思います。機器など色々な説明を受け、今後の勉強となりました。ありがとうございます。(飯田(富)さん)



青少年指導員
全員で頑張りました!

令和4年度 南区青少年指導員協議会 新任者研修会



令和4年5月22日(日)13時から新任者研修会が開催されました。例年と違い今期(28期)の新任者19人に加え、コロナ禍によりほぼ活動ができなかった前期(27期)の青少年指導員も参加して総勢50人での研修でした。

今回は、全体で青少年指導員の年間の活動説明などを聞いたあとに、グループに分かれて青指のメインの活動であるキャンプ、ボイス・オブ・ユースや、各地区で行われる活動について先達から聞きました。活動の楽しさや苦勞等の経験談を聞き、活動のイメージをすることができたと思います。終了後のアンケートには「全体の活動のイメージができて、これからが楽しみになった」「他の地区の方と話ができてよかった」等、活動開始に向けた準備となる研修会でした。(加藤)



令和4年度市青少年指導員研修会



令和4年9月10日(土)に3年ぶりの開催となった当研修会に参加しました。

会場となった港南公会堂には、ほぼ満席となる市内の青少年指導員が集いました。会場には、港南区の青指の活動紹介

がパネル展示され、コロナ禍においても活動を模索して実践している様子が見られました。

オープニングイベントでは、千童太鼓の力漲るパフォーマンスで、会場内が一気に加熱し、冒頭の挨拶では、来賓の皆様からコロナ禍における活動の継続に対して、感謝のお言葉をいただき、青少年育成活動の意義について、認識を新たにしました。

基調講演として、「アフターコロナがもたらす子どものスマホ危機」について、ジャーナリストの石川結貴様より分かりやすくお話いただきました。コロナ禍で子どものスマホ、ネット利用が長時間化しています。学校においても、デジタル端末が配布され、新たなトラブルやリスクも高まっています。そういった時、大人が一方的に子どものネット利用を批判するのではなく、危険となる具体的な情報をしっかりと示し、子ども自身に考えさせること、また大人も一緒に勉強して、子どもと一緒に考えていくことが大切であることを学びました。

久しぶりの対面での研修会で、多くの仲間たちと出会うことができ、今後の活動への意欲も高まり、とても刺激的で有意義な研修会でした。(山田)



第53回 神奈川県青少年指導員大会



令和4年11月27日に横須賀市消防音楽隊の演奏を皮切りに、3年ぶりの神奈川県青少年指導員大会が開催されました。

令和4年度の南区からの表彰者は、伊東俊一氏、山中久美子氏、高田雅美氏、宮本康明氏の4名でした。

第2部では、葉山、三浦地区の活動事例紹介に続き、たかのであるこ様の講演「生きるってなに?」が行われ、世界中を旅したお話しと映像で、あっという間に時間が経ち、16時30分に閉会しました。

来年は県西地区で行われる予定です。(寄稿 山崎会長)



左手から
伊東 俊一氏、
山中 久美子氏、
高田 雅美氏



全市一斉統一行動パトロール



お三の宮地区

お三の宮地区は、パトロール同日に小中打合せ会も開催しました。当日は、打合せ会終了後に、中学校正門付近で先生方と青少年指導員で写真を撮った後、二手に分かれてパトロールを実施しました。

夕方、日が暮れる時間帯の公園では先生方から率先して馴染みのある生徒さんへ声掛けしたり、遊具付近の子どもたちと帰る時間を確認したりしました。

コンビニエンスストアでは店長さんとお酒やタバコの年齢確認をどのように実施しているのか聞くことができました。また、通学時間帯に店舗駐車場を出入りする車と子どもの事故防止のお願いをしました。その他、周囲や路上にゴミが散らかっていないかを確認しつつ、最終合流場所でお互いのパトロール状況を共有して、解散しました。

以前のような活動に戻ることを期待しますが、子どもたちの行動にも変化が少しあるように思えます。新しい試みにも創意工夫が必要ではないかと感じました。(岡田)



寿東部地区

寿東部地区は、7月30日に南吉田小学校正門前に集合し、パトロールを実施しました。

南吉田小学校から3名、吉田中学校からは4名の先生に参加いただき、総勢14名での活動になりました。冒頭に岡本地区長から挨拶があり、3班に分かれ、スタートしました。私の参加した3班は、県道81号線浦舟交差点を左折して、吉田中学校を目指しました。時折吹く浜風さえ、熱風にしか感じられない熱帯夜で、コンビニ店内等も人がまばらで閑散とした様子でした。21時には、無事に各班が吉田中学校に到着し、地区会長の挨拶でパトロールを終了しました。(築地)



編集後記

「変わるにはリスクを伴う、変わらなければもっと大きなリスクを伴う。」これはアメリカの元宇宙飛行士ジョン・ヤング氏の言葉です。

コロナ禍の現在、私はこの言葉を思い出しました。世界中の人々が今までできていた事、今だからこそできる事、これからやりたい事を実現させるために、「変えよう」と挑戦していると思います。

今回お届けした青指だより65号は、3年ぶりに開催されたふれあいキャンプと南公会堂で行われたボイス・オブ・ユース表彰式の掲載号です。紙面から参加した子どもたち、準備・運営に携わった大人たちの充実感・達成感を感じ取っていただけたら幸いです。

私たち青少年指導員も様々な困難を工夫で克服して、これからも「変える」ことで実現できるよう目指していきます。(伊東(由))



編集委員



■ 広報部会長

北永田地区	▶	加藤 春哉
お三の宮地区	▶	岡田 圭司
太田地区	▶	稲垣 恵子
太田東部地区	▶	今井 馨太郎
寿東部地区	▶	築地 徹郎
中村地区	▶	平野 直子
蒔田地区	▶	齊藤 純子
井土ヶ谷地区	▶	門井 由美子
南永田山王台地区	▶	山田 智久
永田みなみ台地区	▶	伊東 由和
六ツ川地区	▶	大川 博
六ツ川大池地区	▶	青木 慶一
本大岡地区	▶	内田 正幸
別所地区	▶	松尾 英司

■ 広報部会担当役員

六ツ川大池地区会長	▶	伊東 俊一
-----------	---	-------